

支部だより 広島支部 技術講習会「省エネルギー建材の事例について」

技術研修委員会 小林 礼幸

2月8日、広島市まちづくり市民交流プラザにて技術講習会を開催しました。今回は、環境に配慮した省エネルギー建材の事例について勉強しました。

まず、屋根の通気工法の事例について、(株)島屋と(株)佐渡島の担当者から説明を受けました。金属屋根の下にシートを使用した通気工法の事例は、断熱性・結露防止・雨音軽減等に優れており、参考になりました。



次に、価値を高める外断熱の事例について、東邦レオ(株)の担当者から説明を受けました。断熱に合わせた空調改修や外付けブラインドの事例は、快適性に併せコスト面でも効果があり、分かりやすいものでした。

最後に、蓄電システムと屋上の太陽光パネルの基礎架台について、日立コンシューマ・マーケティング(株)とコスモシステム(株)の担当者から説明を受けました。蓄電システムの事例からは、新しい生活への可能性を感じました。基礎架台の事例は、FRP製のため荷重軽減や工期短縮に効果的なものでした。

会場横に実物の展示も行い、手に取って見ることもできました。短い時間でしたが、新たな知識を得ることができ、大変有意義なものでした。

青年建築志の事業を終えて

社会活動委員会青年部会 部会長 森川 順平

2月5日(日)、広島市まちづくり市民交流プラザにおいて、『Ambition～きいてみんさい建築士のはなし～』を開催いたしました。

1年前に7支部の青年部長へ、「青年建築士の役割とは？」と、以下の3つのことについて問い掛けました。

- ①一般社会に向け、青年建築士は何ができるか？
- ②建築士資格取得を目指す方々や、建築業界に就職しようとしている学生たちに、青年建築士は何ができるか？
- ③我々自身がスキルアップできる環境をどうやったら作れるか？



この問い掛けに対し、各人から志のある回答が出されました。それらをまとめ上げたのが、『Ambition～

きいてみんさい建築士のはなし～』です。著名な建築家の先生をお呼びするようなものではなく、あえて、青年建築士が日々考える“自分の建築”に対する思いを話す場を設けました。そして、各支部青年部会を通じて話をして頂く方を募ったところ、8名の若き建築士が名乗りを上げてくれました。



大工の和田健作さん・建築家の宮本正崇さん・施工会社の田口雄敏さんと日浦心一さん・曳家の福光陽介さん・建築家の藤山信博さん・青年女性合同事業を代表して家頭昌子さんと神岡千春さん。建築士会だからこその人材が集まったと、感謝の思いと期待で当日を迎えました。

参加者数63名の内、一般参加者26人(41%)。約半数が建築士会会員ではないという状況で、このイベントを会員と一般の方が共有できたと感じました。

8名の話を聞いていくうちに、それぞれの若き建築士の建築観を伝えたい志と、学んだことを伝承したいという志、まちの未来を子どもに託す志…“建築”という共通の言葉で様々なお話しをしてくださったと、強く感じることができました。

今後は一般参加の方、学生の方、建築士の方、会員の方々から頂いたアンケート結果を真摯に受け止め、次なる「Ambition～〇〇してみんさい建築士の〇〇～」につなげていければと思います。



表紙写真について

祇園の家

- 設計監理／Uh設計室
- 所在地／広島市安佐南区祇園
- 構造規模／木造2階建
- 敷地面積／165.45㎡
- 建築面積／75.35㎡
- 延床面積／125.86㎡
- 竣工／2009年5月
- 写真撮影／野村和慎



敷地は住宅地の中にあり、南側が畑に面した土地である。施主は、風通しの良い家であること、そして特に夫婦共働きのため、家事を効率的に行いたいという要望があった。夫婦共にスキューバダイビ

ング、スキー等多趣味であり、年間を通しての器具等の収納、また日々の帰宅後の動線や朝起きてからの動線など、話を聞いてプランを行った。

幸い南側に視線を気にせず心地よい風が吹く畑があり、この畑に向かって大きく開口を取り、リビングに続けてデッキを設けた。夏はこの開口から涼しい風が入りエアコンを使用する日も少ない状況である。冬はダイニングにある大きな吹き抜けを通して、薪・ペレット兼用ストーブで家全体が暖房できる。

玄関から通じる、スキューバダイビング等の置き場兼スキー板のメンテなどができるスペースも確保している。このスキーマンテスペースから、洗面・トイレを通りキッチンへ行けるようになっている。買い物をしたときなどはこちらの動線を使うよう計画している。

また2階は寝室と大きなクロゼット、脱衣、浴室、そしてランドリースペースを配置している。脱衣室で脱いだ衣服を隣接したランドリースペースで洗濯し、すぐ、せるようになっている。衣服をしまうクロゼットにすぐ収納できるよう動線を計画している。

事務局より

24年度 定期講習について

24年度、当会が開催する定期講習日時は以下のとおりです。

開催日	会場	受付期間	会場コード
10月10日(水)	広島県情報プラザ	7月2日(月)～ 9月21日(金)	6D-01
11月7日(水)	福山商工会議所	7月2日(月)～ 10月19日(金)	6D-02
平成25年 2月20日(水)	広島県情報プラザ	7月2日(月)～ 平成25年2月1日(金)	6D-03

受講申込の受付(郵送可)

広島県建築士会本部(広島市中区千田町3-7-47-5F)

受講申込書の配布

4月中旬～(予定)HPからもダウンロードできます。

配布場所 広島県建築士会本部・福山支部

広島県建築士事務所協会

*21年度(H21年4月～H22年3月)に受講された方は、2回目の講習になります。

*新しく建築士登録をされた方<21年度(H21年4

月～H22年3月)登録>で、設計事務所の建築士として登録している方は、この24年度中に1回目の受講義務があります。(以後3年度ごとに受講)

*設計事務所の建築士として登録している者は、3年度ごとに「定期講習」を受講することが義務付けられています。

*「定期講習」は「管理建築士講習」とは別のものです。「管理建築士講習」を受講して管理建築士として登録されている方も、「定期講習」は受講しなければなりません。

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

(既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入)

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務
- 住宅エコポイント関連業務

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0041 広島市中区小町2-30

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京・札幌 営業所:呉

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

株式会社 ティーエス ◆ ハマモト

一級建築士事務所 ISO9001認証取得



大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2

TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

安心で安全な住まいづくりをサポートします

- ◎ 建築確認・検査
- ◎ 住宅性能評価
- ◎ フラット35適合証明
- ◎ 長期優良住宅技術審査
- ◎ 住宅エコポイント
- ◎ 住宅かし担保責任保険
- (財)住宅保証機構(まもりすまい保険)
- (株)住宅あんしん保証(あんしん住宅瑕疵保険)
- (株)日本住宅保証検査機構(JIO わが家の保険)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

指定確認検査機関
(中国地方整備局長指定第1号)

登録住宅性能評価機関
(中国地方整備局長登録第5号)

登録建築物調査機関
(中国地方整備局長登録第1号)



ハウスプラス中国住宅保証株式会社

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL:082-545-5607(代表) FAX:082-545-5608



平成23年度 第38回 支部対抗ボウリング大会について

2月18日(土)、広島市の「ボウル国際」で恒例の支部対抗ボウリング大会が開催されました。



成績／団体の部

優	勝	福山支部
第2位	広島支部	
第3位	東広島支部	

事務局より

24年度(次年度)会費のお支払いについて

会費の徴収については、23年度より「預金口座自動振替制」を導入致しました。これにご協力いただきました会員の皆様、24年度会費の収納については、来たる平成24年4月12日に12,000円の引き落としが実施されます。残高のご確認をお願いします。

なお、この「預金口座自動振替制」の手続きを希望されない方には、24年4月号の会報誌とともに、郵便局での振込用紙を同封致しますので、5月末日までに各自お振り込みいただきますようお願い申し上げます。

CPD管理料・24年度(次年度)分のお支払いについて

建築士会CPD制度に参加されている皆様には、2月1日付のハガキで24年度データ管理料のお支払いのお願いをさせていただきます。3月末日までにお支払いいただきますようお願い申し上げます。

*参加内容に変更がある方、23年度でCPD制度への参加を取り止める方は、必ず事務局までご連絡下さい。

広島県立美術館の割引制度について

広島県建築士会は、広島県立美術館の「団体割引会員」に登録しております。窓口で、「110035 広島県建築士会の会員です」と告げて下さい。広島県建築士会の会員の皆様は、「団体割引会員」の料金で展覧会を鑑賞することができます。

同伴のご家族、ご友人も同様に割引となりますので、お誘いあわせの上、ぜひ美術館にお出かけ下さい。

広島県立美術館 HP: <http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/>

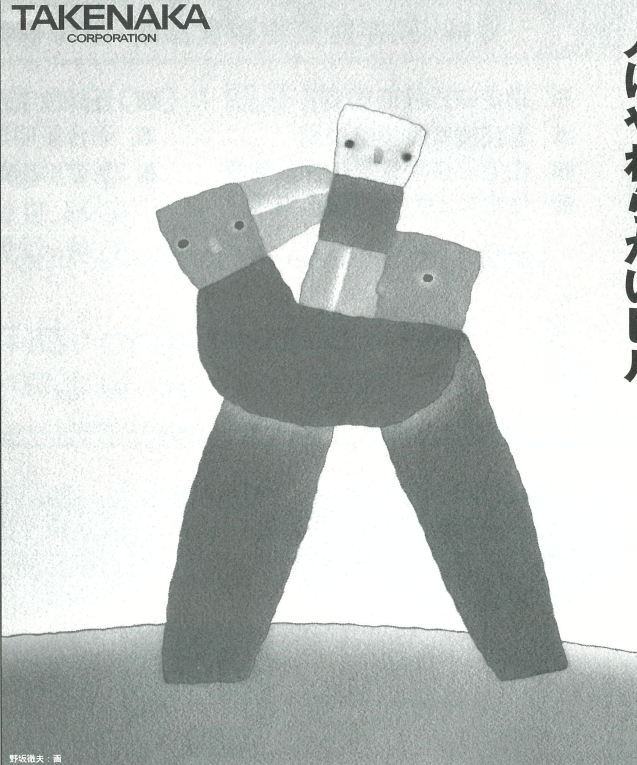
2012 Information Calendar 3月・4月の行事予定

3 March

- 4日・なんでも探建隊(福山支部女性部会)
- 6日・「福山太陽光発電所」見学会(福山支部)
- 17日・住宅研究会事業(広島アスタ展示場)
- 25日・3支部合同ゴルフ大会(三原・尾道・福山支部)

4 April

- 9日・二級・木造受験申込受付(～16日まで)



人にやわらかいビル。

私たちがめざしているのは
人の感性にもっとやさしく触れてくる街。
そのために、建築の領域を大きく広げ
それぞれの最先端技術に磨きをかけています。

竹中工務店

お問い合わせは
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel. 03(6810)5140
〒541-0053 大阪府中央区本町4丁目1-13 Tel. 06(6263)5605

広報部へ
www.takenaka.co.jp

支部だより 広島支部 ひろしま文化都市フォーラム2012

「ひろしまの都市格と暮らし」-3

まちづくり委員会 浦山 豊隆

2月4日、「ひろしま文化都市フォーラム2012」を開催いたしました。このフォーラムは、今年で3回目を迎えました。ひろしま文化都市会議では、都市格(都市の性格や品格)について、2010年度には江戸時代後期の広島城下の歴史や生活文化について振り返り、2011年度には戦前期の「学都広島」「軍都広島」「広島の日那衆と街の暮らし」について振り返りながら、フォーラムの参加者の皆様と「広島の都市格とは何か？」について考えてきました。今年度は終戦直後の当時を振り返って、被爆の廃墟から復興していくまちづくりと暮らしの変化、地域の産業や生活文化を活かし育てる都市の復興とは何か？について考えることをテーマにしました。



第1部では「広島市の戦災復興計画」について、広島市都市整備局都市計画課長の加藤浩明氏にご説明いただきました。広島平和記念都市建設法が制定された背景や、平和記念公園の建設計画とその経緯、広島市が復興してきた都市計画の歩みについて、パンフレット等で分かりやすく説明されました。

第2部では「広島の復興と市民・経済界の歩み」について、広島市未来都市創造財団文化科学部長の高野和彦氏に、広島の復興と共にあった市民・経済界の歩みについてご説明いただきました。被爆直後と2年後とを比較できる中心市街地の全景写真等の資料により、復興していく初期の市街地の様子をお話いただきました。また

特色ある市民、経済の活動として、「銀の鈴」の児童書発行や二葉会、市公会堂他寄付活動などを取り上げて説明されました。昭和32年に広島市が復興をPRするために作成した観光映画「ひろしま」の上映もありました。

第3部では「地域特性を活かし育てる都市の復興とは？」をテーマに、まず建築士会会長の錦織亮雄氏から、ご経験されてきた復興の記憶や、当時の記録などから話題提供をしていただきました。街への強い思い、都市の自立性、官民の溶け合い、計画・人の統合性を挙げて、復興が育てられてきた点についてまとめられました。復興に当たっていた当時の市民は、この街に生きてやるという決意、街を作ろう、今に見ている、それがどうした、といった気概を持っていたということなど、ご自身のご経験を交えて熱く語られました。当時は絶大な上昇志向の共有によって官民が溶け合っており、現在においても見習うべきということも指摘されました。

トークセッションは、アトリエトライアウト代表の細見恵氏をコーディネーターに加藤氏、高野氏、錦織氏をパネリストとして意見交換が行われました。街の特性を伝えつつ復興していく中で、広島平和記念都市建設法だけではなく、そこに連動した官民が一体となったような市民の活動が担ってきたものがあったというような意見が飛び交いました。また今後の課題として、シュモール会館や河川緑地の桜並木などの歴史を感じさせるような施設の保存や復元整備などが必要であるという意見も出されました。

「地域の産業や生活文化を活かし育てる都市の復興とは何か？」について、軍都時代の産業界の復興への貢献、また学都の流れを汲む教員たちの市民活動が、ハード、ソフト両面において「ひろしまの復興」を支えていたことを振り返る機会となりました。

ご参加、ご協力いただきました皆様、どうもありがとうございました。

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47
広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail: info@k-hiroshima.or.jp
URL: <http://www.k-hiroshima.or.jp/>